

令和 6 年度 事業 報告

豊川市国際交流協会は、平成 2 年 4 月 1 日の設立以来、市民による幅広い国際交流活動を推進することにより、関係各国の相互理解と友好親善を図ってまいりました。

平成 2 4 年 4 月からは、公益財団法人として各種国際交流事業を展開するとともに、地域在住の外国人住民の増加に伴い、より安心して日本人と共生して生活していけるよう、日本語教育支援をはじめとした各種多文化共生事業にも力を注いでまいりました。

令和 6 年度は、徐々に新型コロナウイルスによる影響から脱し、各種講座の参加人数が増加するなど各事業が通常どおり開催できるようになりました。

こうした中、地域の国際化、多文化共生社会の実現のため、関係団体、ボランティアの方々の御協力をいただき、事業を積極的に展開してまいりました。特に、どんな国シリーズの「ロシアってどんな国」、「モロッコってどんな国」では非常に多くの市民の方々のご参加をいただき、また、国際理解講演会を、「世界を左右する中国の『長期戦略』」と題してイオンホールで開催しました。

また、恒例のワールドフェスティバルでは、より多くの方に国際交流協会の活動を知ってもらうことを目的に初めてイオンモール豊川に会場を移して、「つなげ！未来へ！」をテーマとして開催しました。従来の固定層だけでなく、知らずにイオンモールに来店した観客も含め、数多くの観覧者を迎えることができ、大盛況となりました。

このような事業を通し、今後も、ボランティアの方々や市内高校、関係団体及び地元企業と連携を強め、公益性を活かしながら時代に即した事業を計画実施します。そして、外国人を含めた市民が安全な環境の中で安心して暮らせるような、より広い視点から国際交流活動を推進してまいります。

公益目的事業 1

諸外国との相互理解と友好親善を深めるための国際交流と国際協力に関する事業

(1) 交流会

コロナ禍がようやく沈静化し、従来に近いかたちで地域の人々と外国人との交流を通じて、相互理解と友好親善を深められるようなイベントを開催しました。

①ワールドフェスティバル 2024

今年は、初めてイオンモール豊川に会場を移して、店内 4 会場をスタンプラリーでつないで開催しました。

メイン会場である 1 階サウスコート会場では、開会式、「華豊の友」による中国舞踊、フランス部会の弦楽演奏、JUCA エンターテイメントによるウクライナ歌舞踊、豊川高校チアリーディング、国際交流コスプレ大会、英語部会のダンス、パチャママによるアンデス音楽演奏、また市内 6 店舗によるワールド

ドグルメ販売がありました。

1階こもれびコート会場では、グローバル企業4社、豊川警察署の展示、折り紙コーナー、バティック体験、世界の鉄道模型Nゲージの展示を行いました。

2階サウスブリッジ会場では、豊川高校インターアクトクラブによる「ちびっこ広場」の開設、3階イオンホールでは、日本車両車友会による鉄道模型・恐竜模型などの作品展示を行いました。

参加者 約2,400名

(2) 外国人支援事業

開発途上国へ中古衣料などを送る支援のために、支援物資の呼びかけをホームページや機関紙で行い、ズボン、シャツ、セーターなど段ボール1箱分の衣料品が集まりました。

公益目的事業2

地域の国際化を推進するための人材の育成と市民活動支援に関する事業

(1) ボランティア登録・育成・活動の紹介

地域の国際化や外国人支援に関心のある市民を対象に、ボランティアとして募集、登録、育成するとともに、協会で行っているボランティア活動の紹介を行いました。

また、地域の国際化を推進するための人材の育成や多文化共生における市民活動の活性化に向けて支援しました。

① 日本語学習支援、イベント支援等のボランティアの募集・登録

機関紙「We」やホームページ、SNS、チラシに掲載して募集、登録を促しました。

② 情報交換・意見交換会（運営委員会）の開催

協会の事業実施状況、ボランティアグループの活動状況の紹介、情報交換やボランティア活動における課題について、話し合う意見交換会(運営委員会)を各部会の代表者で開催しました。(開催回数：10回)

③ 日本語ボランティア養成講座及びスキルアップ研修会の開催

「やさしい日本語」×「外国人市民の『声』を聴く」＝みんなでつくる「ことばの活動」・みんなでつくる日本語教室

日時 令和6年9月29日(日) 午前10時30分～15時30分

場所 市勤労福祉会館 視聴覚室

講師 犬飼 康弘氏

(公益財団法人 ひろしま国際センター 日本語常勤講師)

受講者 29名

内容 午前は養成講座として外国人学習者にわかりやすい「やさしい日本語」表現に配慮して使うことの大切さや作り方のコツを学び、午後はスキルアップ研修として学習者が何を欲しているか理解し寄り添うことで良好な人間関係づくりと日本語教室の環境づくりに役立つことを学びました。

④ 市民まつり「おいでん祭」への参加

日時 令和6年5月26日（日）

場所 総合体育館前広場

内容 サブステージで、パチャママによるラテンアメリカの伝統的な民族音楽（アンデス音楽）の演奏を披露しました。

従事者 15名

⑤ 「防災ってお互いさま！～災害時通訳ボランティア及び防災ボランティアコーディネーター スキルアップ研修～」

日時 令和6年11月10日（日）午前10時～正午

場所 市文化会館 大会議室

受講者 39名

内容 今回は、①被災地や避難所の実際、②豊川市の災害時のトイレ対策、③災害時に使える「やさしい日本語」の3本立てで行いました。

また、平時から顔の見える関係づくりとして、この事業は当協会、社会福祉協議会、豊川VC、穂の国まちづくりネットワークで共同主催し、危機管理課、市民協働国際課の協力も得ました。

(2) 国際理解講座の開催

人権、環境、平和、防災など地球規模の課題への理解を深め、解決に向けた実践的な行動を起こすことができる市民の育成を狙いとした、講座や講演会などを行うことにより、市民の国際理解を深める取り組みを推進しました。

① 多文化共生課外授業

日時 令和6年6月9日（日）午前8時30分～午後3時30分

場所 岡崎城、三河武士のやかた、家康館、八丁味噌の郷（岡崎市）

受講者 18名

内容 本市の多文化共生社会の実現に向け、日本語教室の学習者とボランティアと一緒に教室外で、実践を兼ねた体験学習を実施しました。今回は岡崎公園に行き、岡崎城、三河武士のやかた、家康館を見学することで日本の歴史に触れ、八丁味噌の郷では八丁味噌の作り方や味噌蔵の見学などを通じて日本の食文化について学びました。

② 「どんな国シリーズ」として、それぞれの国の歴史、風俗、習慣などについて紹介していただき、国際的な知識と視野を広めました。

ア 「ロシアってどんな国」

日 時 令和6年9月8日（日）午後2時～4時

場 所 市勤労福祉会館 大研修ホール

講 師 バブシキナ オレシヤ氏

受講者 58名

イ 「モロッコってどんな国」

日 時 令和7年2月2日（日）午後2時～4時

場 所 市勤労福祉会館 大研修ホール

講 師 アスマ マヤ氏

受講者 90名

③ 国際理解講演会

「世界を左右する中国の『長期戦略』～米中対立と日中関係の行方～」

日 時 令和6年6月30日（日） 午後2時～4時

場 所 イオンモール豊川 イオンホール

講 師 川村 範行氏(名古屋外国語大学名誉教授、元中日新聞論説委員)

参加者 41名

内 容 「一帯一路」「デジタルシルクロード」などの施策を通じてこの10年間で飛躍的な発展を遂げた中国は、既存の国際秩序への挑戦を始め、世界の覇権を巡り米国との対立を深めています。こうした中で日本はどう対応していくべきかについて、川村教授の考えを聞くことができました。

(3) 姉妹都市等の交流

キュパティノー市との交流

「ベルリンギング返礼写真撮影」

日 時 令和6年9月21日（土） 午前10時～11時

場 所 赤塚山公園 ギョギョランド

参加者 17名

内 容 折り鶴を持ち寄り、「平和・ピース」と印刷したうちわを掲げて、ギョギョランド2階でキュパティノー部会員が並んで写真を撮り、メッセージと合わせてキュパティノー市へ送信し、「ベルリンギング」への返礼としました。

(4) 外国語講座

語学学習や外国人との会話を通して外国文化に触れ、国際的感覚を養いました。

英会話6講座、中国語2講座及びスペイン語1講座を実施しました。

① 英会話講座

- ア メアリー先生とノリノリ英会話1（初級）
令和6年5月14日～令和6年7月30日（受講者10名）
- イ みんなのための英会話1（初級）
令和6年5月14日～令和6年9月3日（受講者25名）
- ウ メアリー先生とノリノリ英会話2（初級）
令和6年9月10日～令和6年11月26日（受講者14名）
- エ みんなのための英会話2（初級）
令和6年9月10日～令和6年11月26日（受講者21名）
- オ 英語で自分の意見を言ってみよう！（初中級）
令和6年12月3日～令和7年3月18日（受講者23名）
- カ 世界のトピックを英語で話してみよう！（中級）
令和6年12月3日～令和7年3月11日（受講者9名）

② 中国語講座

- ア 中国語初級会話1 発音矯正と文法強化（初級）
令和6年9月12日～令和6年11月28日（受講者5名）
- イ 中国語初級会話2 発音矯正と文法強化（初級）
令和6年12月5日～令和7年3月6日（受講者7名）

③ スペイン語講座

- 話そう スペイン語！（初級）
令和6年12月4日～令和7年3月12日（受講者7名）

公益目的事業3

外国人と共に暮らす多文化共生社会の実現に向けた事業

(1) 日本語学習支援事業

外国人住民が日本人と円滑なコミュニケーションをとり、安心して日常生活を送ることができるよう支援するために、日本語教室を開催しました。日本語習得の機会を提供することで、多文化共生社会づくりを推進しました。

① 日本語教室の開催

- ・夜クラス

時 期 4月～8月(55期)、10月～3月(56期)の毎週土曜日
午後7時30分～午後8時45分

場 所 市勤労福祉会館
講 師 協会の日本語教室部会員 延べ59名
受講者 111名(55期)、111名(56期)
内 容 入門から上級まで、17クラスに編成して開講しました。

・ひるまクラス

時 期 4月～10月(23期)、10月～3月(24期)の火・水・木曜日
午前10時30分～正午

場 所 市勤労福祉会館
講 師 協会の日本語教室部会員 37名
受講者 延べ28名(23期)、延べ25名(24期)
内 容 入門から上級まで、小グループ又は個人レッスンで開講しました。

② 豊川市日本語スピーチコンテスト(第15回)

日 時 令和6年10月20日(日) 午前9時30分～正午

場 所 市勤労福祉会館 大研修ホール

出表者 17名(小中学生10名、高校生以上一般7名)

内 容 東三河スピーチコンテストと同様の審査基準で実施し、表彰はすべて会長名で、各部に「最優秀賞」「優秀賞」「優良賞」を設けました。発表者は、日本語での生活を通じて考えたことや伝えたいことを発表し、市民相互の交流を図りました。

③ 東三河日本語スピーチコンテスト(第15回)

日 時 令和7年1月26日(日) 午後1時30分～午後4時45分

場 所 田原文化会館 小ホール

発表者 24名(小中学生14名、高校生以上一般10名)

うち豊川市5名(小中学生3名、高校生以上一般2名)

内 容 東三河5市に在住する外国人市民に日本語によるスピーチができる機会を提供し、地域の多文化共生理解を深め、国際交流の推進を図るため実施しました。

(2) ペクラ事業

この地域に在住するラテンアメリカにつながる子どもたちが、母国語や日本語で円滑なコミュニケーションをとれるよう、母国語教室及び日本語教室を開催するとともに、学習支援などを通して、多文化共生社会づくりの促進を図りました。

① 小中学生学習支援クラス

日 時 4月～3月の月3回土曜日 午後1時～5時

年間36回開講

場 所 主に市社会福祉会館(ウィズ豊川)

講 師 協会ボランティア8名、ポルトガル語・スペイン語講師各1名

学習者 延べ19名

内容 母国語、日本語及び学校の教科の学習支援を行いました。

(3) 外国人支援講座

日本で生活するための社会制度などの講座や相談会を行いました。

外国人のための税務相談会2025

日時 令和7年2月16日(日) 午前10時～午後4時

場所 市勤労福祉会館大研修ホール

協力 市民税課、東海税理士会豊橋支部

参加者 24名(ブラジル人21名、ペルー人3名)

内容 市内在住の外国人の方への確定申告の支援をし、地域の人と共に暮らす多文化共生社会の一助としました。

(4) 外国人多言語相談事業

外国人市民が抱える問題に対し、母国語で相談できるよう住民に関する生活情報等の収集、提供を多言語で行うことにより、外国人市民への生活支援の充実を図ることで、多文化共生社会づくりを推進しました。

- ・ポルトガル語、スペイン語、中国語、英語による生活相談及び情報提供
- ・相談件数 51件

(5) 翻訳事業

住民、行政機関、各種団体からの翻訳の依頼に対し、必要な翻訳を行い多文化共生社会づくりに寄与しました。

個人から行政機関等に提出する公文書、市役所等が外国人向けに提供する行政情報及び公的な文書の翻訳

通年にわたり、ポルトガル語、スペイン語、中国語、英語の通訳、翻訳などを行いました。

公益目的事業4

地域の国際化を推進するための調査研究及び情報提供に関する事業

(1) 機関紙発行事業

地域の国際化に関する情報を市民や関係団体に情報提供することで、市民レベルのボランティア活動の推進と地域の国際化を図りました。

- ・機関紙「We」の発行
発行回数・部数 年2回(4月・10月)2回で2,000部

(2) 広報とよかわ「インフォルマ」スペイン語版翻訳事業

日本語がわからないために情報格差が生じがちな外国人市民に対し、市広報の行政情報の一部を母国語で提供するための翻訳の協力をしました。

・「インフォルマ」

発行回数・部数 年12回 1,800部 /回

(3) 協会ホームページの運営

広報手段として重要なホームページを管理・運営することにより、生活に必要な情報を速やかに提供するとともに、協会の事業やボランティア活動に参加を促し、地域の国際化の推進を図りました。

・ ホームページでの情報提供

本協会の行事予定や活動状況、語学講座や文化講座等について、より多くの方に情報提供し協会事業への参加を促すための情報発信を行いました。

(4) ざっくばらんに話そう！（国際人育成座談会）

高校生、大学生、グローバル企業の社員、警察官、高校教師、国際経験豊富な方々と大勢の参加があり、ワールドカフェ方式にて、海外や外国人に関わる経験や話題を本音でディスカッションしました。

日時 令和6年12月22日（日） 午前9時～10時45分

場所 市勤労福祉会館1F 視聴覚室

参加者 28名（うち高校生3名）

内容 昨年まではワールドフェスティバルの中の1コーナーとして、実施していましたが、今年はワールドフェスティバルをイオンモールでの開催としたことから別日での実施となりました。参加者が、それぞれの海外経験談、語学、地域在住外国人の話題、食べ物等について、気ままにおしゃべりすることで、色々な国や様々な立場の人と海外体験、外国人交流体験の話ができ、英語についての認識や海外情報も得られたので参加してよかったと好評を得ました。

附属明細書

令和6年度事業報告には、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する附属明細書の「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しません。